



若草園を支える会 会報

後援会だより

平成25年(2013)11月25日発行 第16号

事務局：社会福祉法人 栄光会 若草園 内

〒787-0155 高知県四万十市下田2211

Tel (0880) 33-0247/Fax 33-0518

IP電話(050) 3344-8850

取引口座 郵便局 01610-5-9632 社会福祉法人 栄光会 若草園
幡多信 下田支(普) 0083497 「若草園を支える会」会長山崎祥正

機関紙『わかくさ』第26号をお届けします. . . .

◆ 平成25年度活動中間報告



さらに広がる支援の輪、お陰さまで若草園を支える会の平成25年度会員は順調に増加しています。今年度も目標の1,000人まであと一歩の所となっています。何よりも多くの方に若草園を知っていたら機会が増えているという事が成果だと思っております。

組織的に各団体を若草園の現況報告と共に訪問させていただき、若草園を支える会へのご支援もいただけている事をこの場を借りて御礼申し上げます。各市町村の民生児童委員協議会、人権委員、薬物乱用防止協議会、保育所長会議、小中学校校長会などから多大なご理解とご協力をいただいている事に感謝申し上げます。

◆ いま居る子どものために



今まで卒園して若草園を巣立っていく子どもへの支援が中心でした。今年度からは今、若草園に居る子ども達がより身近に、自分たちを支えてくれている方がある事を知らせるために、施設への支援をはじめました。前号(25号)機関誌の記事にもありましたが、新しいこいのぼりを贈呈しました。

また、今号(26号)の苦情解決報告にありました、子どもからの要望事項として上がってきたテレビ録画用デッキを、若草園を支える会から贈呈しました。

お陰さまで、子ども達はとても喜んでおります。



✉ 事務局直通メール
wakakusaenjimu@
yahoo.co.jp



◆確定申告をされる方へ



「所得税法78条の社会福祉法人に対する寄付金控除」の特典を受けられる方は社会福祉法人栄光会で寄付金を受け取った上で、支える会には会員登録のみさせていただきますので、お申し出ください。専用の領収書をお送り致します。すでに若草園を支える会の振込用紙で入金された方で、税控除を受けようとされる方は、郵便局の受領書では税法上の特典を受ける事ができません。事務局へご相談下さい。

◆会費納入の確認方法

会報をお届けしている茶封筒の宛名ラベルの「住所」と「名前」の間に“2013更新済”と記入されてある方は、既に平成25年度会費をいただいております。ありがとうございました。

お
届
け
先
TEL
様

香川県高松市
朝日町4丁目
2013更新済
佐川コンピュータシステム(株)
若草花子
087-822-8758

見本 1-1



お問合せ店
佐川急便(株)
四万十店
TEL 0880-66-1111

飛脚メール便

メール便No. 8405-3562-4401 この荷物は佐川急便が配達しました

◆若草園の見学について

若草園では施設の解放行事として毎年5月にガーデンパーティーを開催しておりますが、いつでも施設の見学をする事は可能です。あらかじめ①ご来訪の日にち・お時間、②お越しになる人数をお知らせ下されば歓迎いたします。

★事務局のこぼれ話④

若草園の管理棟には「地域交流多目的ホール」があります。ふだんは職員会議などに利用しています。移動式の壁で2部屋に区切る事が出来ますので、園内で実施している公文式学習でも重宝しています。このスペースは名前の通り地域に貸出しておりますので、会合などでご利用いただく事が可能です。イスだけですと100名、机とイスですと54名が収容可能です。

また若草園には、ガーデンパーティーなどで活躍している本格的やきそば台、タコ焼き台、かき氷機があります。土佐中村一條太鼓にも取り組んでおりますので、和太鼓も数セットございます。これらの備品は保育園、小中学校などに貸し出ししております。また、近隣の施設にもクチコミで広がって貸し出ししております。持ちつ持たれつという言葉がありますが、地域住民の血税と近隣各市町村の寄付金で建てられた若草園を、地域のみなさまに開放して恩返しが出来たらよいと思います。

会場も備品も無料で、所定の借用書にて届け出て下さるだけで構いませんので、利用を検討される場合は若草園までご相談下さい。太鼓は芸能祭シーズンなど貸出ラッシュになります。先着順にさせていただいておりますので、必ずしもご要望に添えない場合もあります事をあらかじめご了承下さい。

アメリカ映画に『ペイ・フォアード』という作品があります。中学1年生の主人公が社会科の授業で「この世の中を良くするためには何をしたらいいか?」との問題を出されて、少年は一所懸命に考えて答えを出します。「人から受けた好意を別の人へ回す」=(自分が今までに受けた恩を、目の前に居る人に返していく)。いわば社会の善循環システムをこの若者は思いついたのです。

若草園を支える会もみなさんのご理解とご協力をいただいて、1つの善意の大きく力強い輪として、子ども達を支える環境として機能しております。若草園がみなさまにお役立ちする場面もあれば、若草園のペイ・フォアードとなり、幸いです。最後までお読み下さり、ありがとうございました。

(事務局 瀬戸雅弘)

H22(2010)年から
更新されていない
方は、次号で会報
の送付を終了させ
ていただきます。

